

第682回番組審議会報告

2023年10月3日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長、栗栖義臣副委員長、木戸哲委員、小島幸保委員、増山実委員、安田真奈委員、川瀬慈委員（書面参加）

■毎日放送出席者

虫明社長、宮田副社長、高山常務、酒井取締役、北野取締役、中野取締役、田淵総合編成局長、柴田コンプライアンス局長、西村考査部長、中西番組審議会事務局長

◆諮問事項

毎日放送放送基準の一部改正について諮問した。

◆報告事項

- (1)テレビの10月改編の概要について、総合編成局長が報告した。
- (2)放送番組種別の公表制度に基づき、2023年度上期（4月～9月）の番組種別ごとの放送時間を総合編成局長が報告した。あわせて同期間のCM総量および10月以降の基本番組表についても報告した。

◆審議事項

テレビの「全国ネット番組」（主に2023年度上期の番組）について意見交換した。

【各委員の主な意見は次の通り】

一 『報道特集』

* すごく弱者に寄り添ったり、放置してはならない問題をちゃんと丹念に追って放映されている。TBSやJNN系列の姿勢がすごくよく表れているいい番組だと思う。

一 『news 23』

* AIがスポーツの実況をするという企画で、かなりクオリティの高い実況中継をAIがやっていて驚いた。この日は重要なニュースがたくさんあったが、それぞれのニュースについてキャスターのコメントが一切なかったの

で、それならAIでいいんじゃないかと思った。

— 『ニュース全般』

* ニュース番組の中に少し前にとても話題になったけどそのまま忘れかけているニュースを「そういえばどうなったコーナー」みたいな振り返る枠があればいいと思う。

— 『THE TIME,』

* ウェブの関心度ランキングに沿ってニュースを紹介するが、あの枠組み自体が違和感がある。必ずしも人気のあるものが伝えるべきニュースであるとは限らない。テレビ報道を貧しくすることにならないかを感じる。

— 『ラヴィット!』

* 前後の自局の番組とか同時時間帯の他局の番組と徹底的に違うことをやってやろうという意味でのこだわりはすごく感じる。

* ワイドショーは過激な内容も含まれるので、子どもと安心して見られる番組だと思う。

* 社会の公器として本当に朝の2時間この緩い感じでいいのか、ちょっとどこかで立ち止まって検証していただければと思った。

— 『情報7days』

* 「18年ぶりの阪神優勝」で、道頓堀川に飛び込んでいる人を映した映像が流れたがあのような映像をテレビで流すから飛び込む人が出てくるのではないか。

— 『サンデー・モーニング』

* 昔から喝とあっぱれのコーナーは好きだったが、明らかに時代に合わなくなってきたと思う。御意見番的な立場の人がスポーツを一生懸命やっている誰かのプレーを上から判断するというスタンスが、そもそも時代遅れだと思う。

— 『VIVANT』

* 『世界・ふしぎ発見!』とコラボして特番を制作していたが、こういう既存の人気番組とコラボしたりロケ地の裏側を出演者が紹介する番組はテレビだからこそできる取り組みで、ほかのドラマでやってもすごく面白いと思う。

— 『水曜日のダウンタウン』

* 商店街の店舗数のうちシャッターが下りている店舗数でシャッター率のランキングをつけるという企画は勉強になった。シャッター率が高いのは単純に廃れているということではなく、背景がそれぞれ全く別々ということがわかり、とても興味深く見た。

— 『クレイジージャーニー』

— 『マツコの世界』

* どちらもニッチな世界の中で頑張っている方々にすごく光を当てている楽しい番組なので、ぜひずっと存続していただきたい。

以 上